

# III 警 防 編



## 1 消防力の現況

### (1) 消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		123	39	162
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	14	4	2	20
そ の 他 の 要 員	40	1	2	43
合 計	54	161	130	345

### (2) 消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	458	6	464

### (3) 消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m <sup>3</sup> 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m <sup>3</sup> 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	197	11			208
鉄 西	253	33			286
白 糠	126	43			169
阿 寒	86	13			99
阿 寒 湖 温 泉	25	8		1	34
音 別	22	26			48
愛 国	149	31			180
鉄 北	227	35			262
橋 北	118	47	1	1	167
橋 南	315	87	1	3	406
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
合 計	1,704	367	2	5	2,078



(2) 出動計画

ア 消防部隊出動計画

市街地における防火対象物の建ぺい率、構造率、年間平均風速、消防水利、消防車の走行速度等々、燃焼消火のエネルギー関係を科学的に分析し、次の基準で出動計画を決めている。

(ア) 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	9台～10台	火災を覚知した時
第2出動	13台～14台	先着指揮官の要請又は異常気象時
第3出動	20台～22台	現場指揮官の要請
特命出動	必要台数	災害状況に応じて指揮官の要請

(イ) 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)

特命出動 必要数

(ウ) 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

イ 非常災害時出動計画

地震災害時、烈風時火災、豪雪時火災、水災等、それぞれの災害を分析し釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱を定め、消防部隊の強化を図っている。

ウ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の石油貯蔵基地は石油コンビナート等災害防止法に基づき西港区域が特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画にのっとり、化学車等を基本に特別防災区域出動計画を定めている。

(3) 災害活動に対する民間協力体制の確立

消防は隊員とこれが装備する資機材によって、各種災害に対応しなければならない。しかし、消防が有する装備と資機材のみによって対応しがたい場合があり、その対応策が強く望まれていた。

このような時に、市内の特殊資機材を有する民間企業が消防の行う活動に協力する目的をもって『釧路市救助協力会』が発足し、釧路市民を災害から守る防災対策が一層強化された。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 6部会 30事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制の確立

釧路市愛国191の1に『釧路市空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 13,879,48㎡、40m<sup>3</sup>級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火剤散布装置5基)が昭和61年11月29日に完成をみた。この基地完成により、湿原、山林火災の消火及び災害時の救助救急等防災対策が一層強化された。

### 3 火災・警戒出動概要

平成24年中の出動状況は63件の火災が発生し、車両延べ455台、職団員延べ2,230名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

#### (1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 ( 台 )			出 動 人 員 ( 名 )		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	9	67	14	81	259	150	409
2 月	11	47	6	53	196	86	282
3 月	4 (1)	28	6	34	117	86	203
4 月	3 (1)	16	5	21	48	26	74
5 月	7 (2)	51	12	63	195	108	303
6 月	2	11	2	13	38	18	56
7 月	7	44	9	53	169	79	248
8 月	3	19	5	24	70	54	124
9 月	1	4	0	4	12	0	12
10 月	5	26	7	33	100	41	141
11 月	3 (1)	15	4	19	58	29	87
12 月	8	47	10	57	198	93	291
合 計	63 (5)	375	80	455	1,460	770	2,230

※ ( ) は、白糠町の内数

#### (2) 過去5年間の火災出動状況の推移

区分 年	火災件数	出 動 台 数 ( 台 )			出 動 人 員 ( 名 )		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 20 年	91(11)	437	84	521	1,778	920	2,698
平 成 21 年	76(10)	429	99	528	1,694	1,044	2,738
平 成 22 年	84(11)	457	96	553	1,874	1,015	2,889
平 成 23 年	79(15)	445	101	546	1,896	1,013	2,909
平 成 24 年	63(5)	375	80	455	1,460	770	2,230

※ ( ) は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

分	年区	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出 動 件 数		692 (44)	470 (39)	606 (74)	720 (85)	917 (102)
集合煙突		8 (1)	5 (1)	8 (1)	6 (1)	2
焚き火		9	2	8	4	7
電柱		4				
異常燃焼		17 (1)	8	9	6	11 (1)
油関係		101 (4)	85 (3)	82 (1)	104 (2)	106 (9)
ガス関係		8	5 (1)	6	12	6
自火報		53 (3)	57 (2)	64 (3)	54 (2)	95
漏電警報器		2	3	1	1	3 (1)
非常警報			4	1	5	12
緊急ボタン		19	2	14 (1)	10	17 (2)
危険排除		223 (9)	37	64 (1)	54 (4)	174 (14)
その他		248 (26)	262 (32)	349 (67)	464 (76)	484 (75)
出 動 台 数		1,114 (85)	861 (66)	993 (105)	1,309 (165)	1,686 (204)
出 動 人 員		5,279 (354)	3,934 (269)	4,334 (459)	5,445 (629)	7,057 (797)

※( )は、白糠町の内数

#### 4 救助出動概要

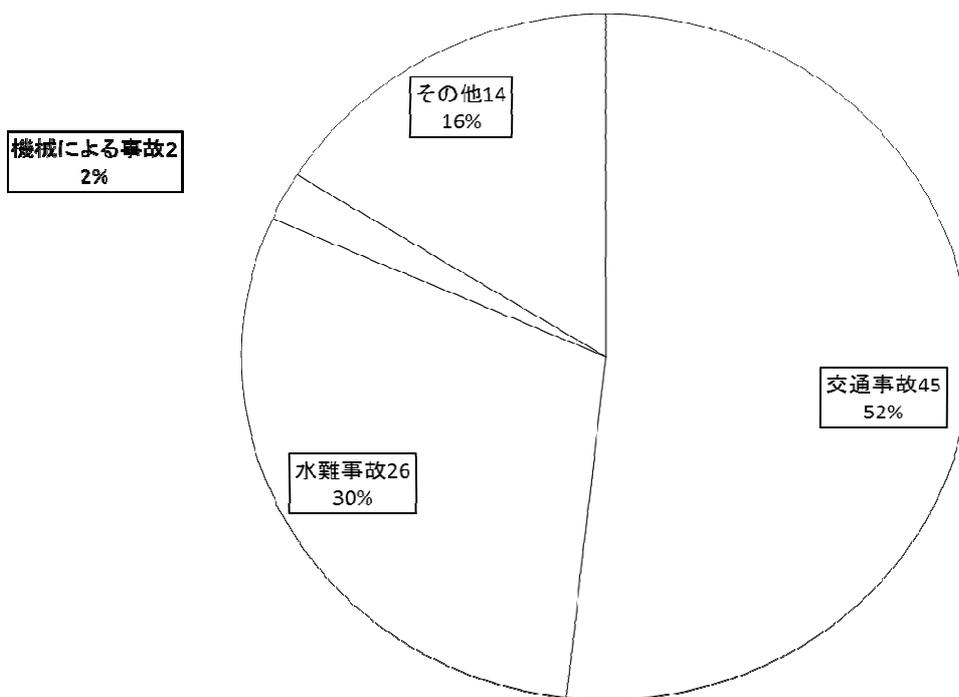
平成23年中の救助出動は73件発生し、車両延べ346台、人員延べ1,405名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

##### (1) 前年比救助出動状況

分	年区	平成23年		平成24年	
		出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出 動 件 数		73 (5)	67 (4)	87 (7)	85 (13)
交 通 事 故		37 (4)	44 (3)	45 (4)	60 (12)
水 難 事 故		19	6	26 (3)	15 (1)
自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故		1	1	2	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故					
建 物 等 に よ る 事 故		1	1		
爆 発 事 故					
そ の 他		15 (1)	15 (1)	14	8
出 動 台 数		346	(22)	438	(33)
出 動 人 員		1,405	(85)	1,833	(137)

※( )は、白糠町の内数

##### (2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数	8	10	8	5	6	6	8	6	7	10	9	4	87
交 通 事 故	5	7	7	3	3	5	1	4		4	4	2	45
水 難 事 故	1	2	1	2	1	1	4	2	5	3	3	1	26
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故										1		1	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													0
建 物 等 に よ る 事 故													0
爆 発 事 故													0
そ の 他	2	1			2		3		2	2	2		14
出 動 台 数	55	41	31	24	37	28	53	28	40	38	50	13	438
出 動 人 員	263	165	132	92	163	110	229	111	143	155	214	56	1,833
救 出 人 員	7	12	8	5	10	10	6	5	4	6	8	4	85

(4) 署々別救助出動状況

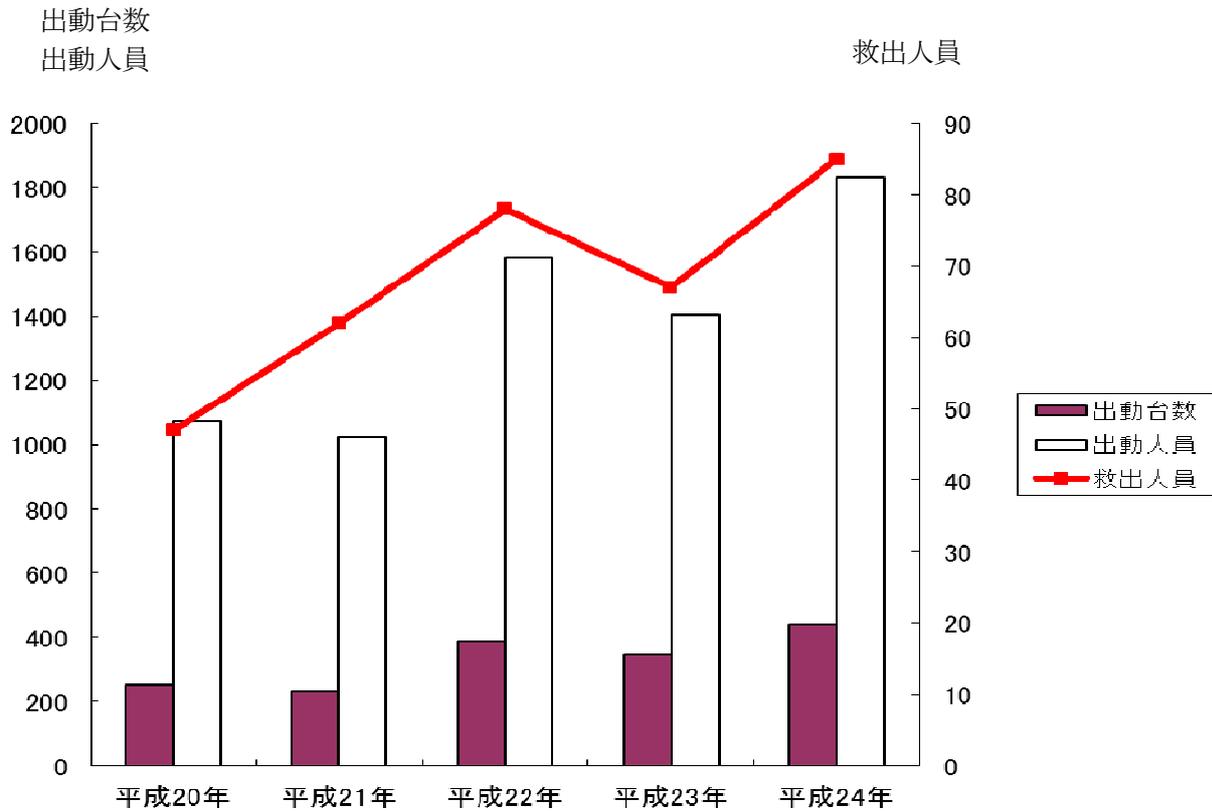
区分 \ 署	中央消防署	西消防署	合計
出 動 件 数	45	42 (7)	87 (7)
交 通 事 故	18	27 (4)	45 (4)
水 難 事 故	16	10 (3)	26 (3)
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故	1	1	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故			
建 物 等 に よ る 事 故			
爆 発 事 故			
そ の 他	10	4	14
出 動 台 数	244	194 (33)	438 (33)
出 動 人 員	993	840 (137)	1,833 (137)
救 出 人 員	35	50 (13)	85 (13)

※( )は、白糠町の内数

(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出 動 件 数		54 (5)	48 (4)	79 (8)	73 (5)	87 (7)
交 通 事 故		24 (2)	27 (3)	43 (6)	37 (4)	45 (4)
水 難 事 故		13 (2)	8	20 (1)	19	26 (3)
自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故		1	3 (1)	1	1	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故		1		1		
建 物 等 に よ る 事 故		2			1	
爆 発 事 故						
そ の 他		13 (1)	10	14 (1)	15 (1)	14
出 動 台 数		252 (24)	233 (16)	388 (32)	346 (22)	438 (33)
出 動 人 員		1,075 (92)	1,026 (65)	1,582 (122)	1,405 (85)	1,833 (137)
救 出 人 員		47 (3)	62 (6)	78 (4)	67 (4)	85 (13)

※( )は、白糠町の内数



## 5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

### (1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用
有線 電話	消防 救急 指令台	119番回線	4(0)回線 I N S回線（一般・携帯・I P全て重畳）、同時8回線
		一斉指令・署所端末回線 ※	40(0)回線 署・分署・支署・救急一音声指令・指令電送
		一斉指令・署所端末回線白糠用	1(1)回線 D A 1 2 8
		指令台用局線	2(0)回線 I N S回線、同時4回線
		順次指令用局線	2(0)回線 I N S回線、同時4回線
		孤立防止回線	2(0)回線 衛星回線（受信専用2）
		支援システム回線白糠用	1(1)回線 光回線
	一般	加入電話	27(2)回線 本部・署・分署・支署、1～12分団（I N S回線、電話・FAX）
		災害情報自動案内	1(0)回線 災害等案内（NTT側設備で100回線）
		内線電話 ※	259(12)回線 本部・署・分署・支署、1～12分団（NTT専用線）
北海道総合行政情報ネットワーク専用電話		2(1)回線 本部総務課、白糠支署に設置	

※ 市インフラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・OA回線等）

※ 白糠支署DA64回線で指令回線・指令電送・内線回線等に活用

※ （ ）内は白糠支署内数

### (2) 無線通信施設

区分・種別	施設数	摘要		
無線 施設	基地局	8局(1局)	25W(本部)一移動局、受令機に対する災害指令 10W(中央消防署・西消防署・東分署・阿寒支署・阿寒湖支署・音別支署・白糠支署) 陸上移動局に対する通信	
		8局(1局)	25W(本部)一固定局に対して通信 10W(中央消防署・西消防署・東分署・阿寒支署・阿寒湖支署・音別支署・白糠支署) 固定局に対して通信 5W一署・分署・支署への受信設備用	
備	陸上移動局	支署及びセンター	14局	支署 5局, 地区防災センター 9局
		車載	96局(16局)	消防車 84局(14局), 救急車 12局(2局)
		携帯	123局(18局)	10W 4局, 5W 102局(18局), 1W 17局
受信機	指令端末用受信機	15台	署・分署・支署 14台, 職員住宅 1台	
	受令機	197台	署・分署・支署 108台, 分団 63台, 本部 26台	
その他	携帯電話	16台(4台)	通信指令課, 警防課, 中央救急, 西救急, 愛国救急, 武佐救急, 白糠×4, 阿寒, 音別, 阿寒湖×2, 市立病院, 医師会病院	
	衛星携帯電話	4台(1台)	救急阿寒湖, 救急音別, 救急白糠 1、救急阿寒	

※ （ ）内の数字は白糠支署内数

(3) 無線局チャンネル及び周波数

チャンネル	周波数	通常時	大規模災害時
第1	149.71Mhz	活動波 2	中央方面本部活動波（中央方面隊）
第2	152.79Mhz	同報波	情報波
第3	150.73Mhz	全国共通波 1	
第4	150.35Mhz	メイン	西方面本部活動波
第5	151.31Mhz	活動波 3	中央方面本部活動波（東方面隊）
第6	148.75Mhz	全国共通波 2	
第7	154.15Mhz	全国共通波 3	
旧西部波	149.75Mhz	旧西部消防組合波	
救急波	147.50Mhz	本部送信	
救急波	143.50Mhz	救急車両送受信	

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	75 (7)	577 (58)	48 (6)	8,565 (460)	6,749 (256)	16,014 (787)
119FAX	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
加入電話受付	5 (0)	205 (16)	10 (3)	233 (15)	11 (1)	464 (35)
警察電話受付	4 (0)	42 (3)	24 (1)	109 (2)	4 (0)	183 (6)
無線受付	0 (0)	22 (11)	1 (0)	34 (1)	3 (0)	60 (12)
駆け付け通報	0 (0)	9 (0)	0 (0)	30 (13)	0 (0)	39 (13)
その他	2 (0)	39 (4)	4 (0)	57 (3)	198 (12)	300 (19)
合計	86 (7)	894 (92)	87 (10)	9,028 (494)	※ 6,965 (269)	17,060 (872)

※合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	892	1,282	1,936	921	64	18	1,852	6,965

※災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。

（消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助、及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。）

※各項目下段（）内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

## 6 研修及び訓練実施状況

### (1) 研修

種別	項目		対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	5回	5人	
			無線従事者免許取得	1回	4人	
			潜水士資格取得	1回	1人	
	派遣	病院実習	救急救命士資格者	240回	50人	
			消防学校	初任教育前期	142日間	6人
		消防学校	初任教育後期	148日間	6人	
			専科教育救急科	49日間	7人	
			専科教育火災調査科	16日間	1人	
			薬剤投与講習	32日間	7人	
	消防大学	専科教育火災調査科	50日間	1人		
	研	市職員研修		釧路市職員研修計画による	9回	79人
		新規採用職員研修		平成24年度採用職員	16回	12人
	修	専科研修		上級救命講習	1回	12人
				水難救助特別教育	1回	1人
予防課程				48回	175人	
特別研修		消防職員意見発表会	1回	14件		
		消防職団員研究発表会	1回	6件		
所 属 研 修	係別	消防隊研修	中央消防署	635回	792時間	
			西消防署	300回	407時間	
	研修	救助隊研修	中央消防署	227回	293時間	
			西消防署	63回	125時間	
	研修	救急隊研修	救急資格者研修	768回	1,883時間	

## (2) 訓練

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本部 訓練	演習	春季消防演習	観閲	1回 29台458人	
		秋季消防演習	慰霊祭・団競技大会	1回 29台460人	
		釧路市防災総合訓練	8月30日	1回 25人	
	各種 訓練	救助隊員養成訓練	指定された隊員	10日間	6人
		消防活動技能訓練	指定された隊員	4回	116人
		救助技術訓練指導会訓練	指定された隊員	11月～7月	6人
		警防技術訓練	指定された隊員	15日間	45人
救急隊員訓練	指定された隊員	11日間	27人		
所属 訓練	係別	消防隊訓練	中央消防署	1,860回 2,354時間	
			西消防署	1,688回 1,930時間	
	専科	救助隊訓練	中央消防署	1,385回 2,088時間	
			西消防署	448回 566時間	
		救急隊訓練	救急資格者研修	1,487回 1,648時間	

## (3) 消防団

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間
研修 訓練	研修	資格取得	自動車運転免許(大型・中型)取得	1回 5人
		特別研修	女性消防団員研修	1回 30人
			機関教養	3回 39人
			予防教養	28回 236人
			幹部教養	
	視察研修	消防団員技能競技大会視察	1回 18人	
		北海道消防学校入校	消防団員基礎教育	1回 2人
			消防団員幹部教育	
	競技大会	釧路市消防団員	ポンプ自動車・小型ポンプ	7ヶ分団 91人
		北海道消防協会 釧路地方支部消防団員 技能競技大会	釧路市(9月11日) ポンプ自動車・小型ポンプ	7ヶ分団 91人
	規律訓練	防ぎよ訓練	訓練礼式	17回 230人
競技訓練			129回 889人	
		署・団合同訓練	17回 170人	